

# 産業別四半期見通し調査結果 (2022年7～9月期見通し)

## ■長野県産業天気図

### ◇2022年4～6月期の現況

- 全12業種中、「晴れ(好調)」が2業種、「薄日(順調)」が1業種、「曇り(普通)」が5業種、「小雨(低調)」が4業種となった。

### ◇2022年7～9月期の見通し

- 見通しは、「晴れ(好調)」が2業種、「薄日(順調)」が1業種、「曇り(普通)」が5業種、「小雨(低調)」が4業種となった。方向感では、「横ばい」が12業種となっている。

天気図記号	2022年 1～3月期現況	2022年 4～6月期現況	2022年 7～9月期見通し
 晴れ(好調)	2 業種	2 業種	2 業種
 薄日(順調)	1 業種	1 業種	1 業種
 曇り(普通)	3 業種	5 業種	5 業種
 小雨(低調)	6 業種	4 業種	4 業種
 雨(不調)	0 業種	0 業種	0 業種



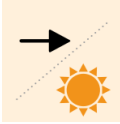


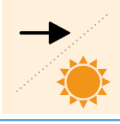


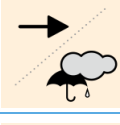


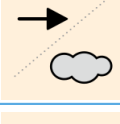


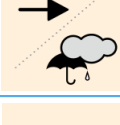




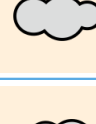

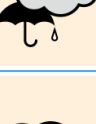
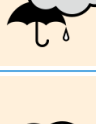
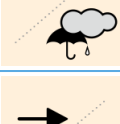
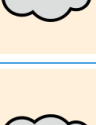
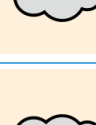

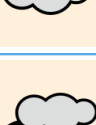
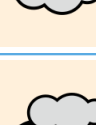
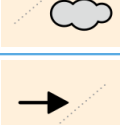

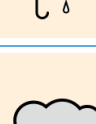
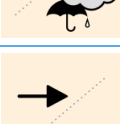
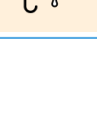
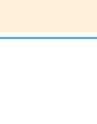
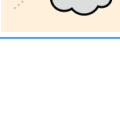
## ■7～9月期見通しのポイント


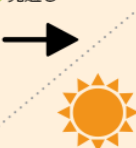
- 製造業、非製造業ともに、天気マークに変化はない見通し。







## <産業別天気図一覧(12業種)>


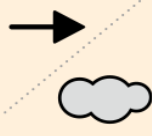
- 調査内容:業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてのアンケート調査とヒアリング調査の結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間:2022年6月中旬～7月中旬
- 調査回答企業:県内主要企業12業種の121社



業種	前期 (22年1～3月期)	今期 (22年4～6月期)	来期 (22年7～9月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			



生産用機械	IT・自動車関連を中心に受注は国内外とも高水準が続く
<p>● 現況</p> 	<p>国内向けは自動車関連の設備投資が堅調に推移し、海外向けは半導体を中心にIT関連や電気自動車関連が好調で、生産用機械の受注は高水準だった。今後も国内外ともに受注は高水準が続く見込み。ただ、リニアガイド等の基幹部品や半導体・コネクタ等の部品不足による機械の納期の遅れは、続く見通し。また、原材料価格の上昇が見込まれるが、販売価格への転嫁は一部にとどまるとみられ、収益は圧迫される見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>工作機械</b>の受注は、国内では自動車関連が底堅く推移し、IT関連も順調が続く。東アジア、北米、欧州など海外は、IT関連や電気自動車向けを中心に好調が続く見込み。</li> <li>• <b>半導体製造装置</b>の受注は、旺盛な半導体需要が続くことから好調な見通し。</li> </ul>



電子部品・デバイス	受注は好調だが、コストの増加が収益を圧迫する見込み
<p>● 現況</p> 	<p>電子部品の受注は、スマートフォン向けが今秋発売予定の新製品を中心に堅調だった。車載向けは完成車メーカーの工場停止の影響がみられたが、パワー半導体等を中心に需要は旺盛だった。産業用の電子制御部品は半導体等の製造装置向けを中心に好調だった。今後も受注は好調だが、電気料や原材料価格の上昇が収益を圧迫する見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>スマートフォン向け</b>は、前年の5G対応製品ほどの勢いはなく、部品受注はやや減少する見通し。<b>車載向け</b>は、完成車メーカーの減産の影響もあるが、パワー半導体等が好調なほか、納品先の在庫積み増しを背景とした受注増もみられ、総じて堅調の見込み。</li> <li>• <b>産業用の電子制御部品</b>は、半導体等の製造装置向けを中心に受注は好調な見通し。</li> </ul>



自動車部品	半導体不足の影響が継続し、受注は低調
<p>● 現況</p> 	<p>半導体不足や上海のロックダウンなどによる完成車メーカーの工場停止の影響により、受注は低調だった。今後は、新車需要は堅調なもの、半導体不足などによる完成車メーカーの生産の滞りが続くと思われるため、受注は低水準で推移する見通し。また、原材料価格の上昇が収益を圧迫することが懸念される。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>国内向け</b>は、スポーツ用多目的車(SUV)を中心に新車の需要は強いものの、半導体不足により完成車メーカーの生産が滞る状況が続くため、受注は低調を見込む。</li> <li>• <b>北米や中国向け</b>でも半導体不足が続き受注は低調を見込む。<b>東南アジア向け</b>では、行動制限の緩和で新車需要は拡大しており、受注は持ち直す見通し。</li> </ul>


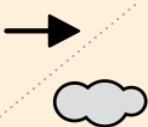
飲料製造	夏場を迎え、清涼飲料水を中心に需要は堅調
<p>● 現況</p> 	<p>飲料の需要は、善光寺御開帳などに伴う観光客の増加により、飲食店向けや土産品などが堅調だった。今後は、清涼飲料水の需要が高まる時期を迎えるため、需要は底強い見通し。ただ、燃料や原材料価格の上昇が続く中、販売価格への転嫁は一部にとどまるとみられ、厳しい収益環境が続く見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>果汁飲料</b>は、夏場は需要が落ち着くため例年並みを見込む。<b>その他の清涼飲料水</b>は、猛暑や人の移動が増えることが予想され、需要は増加する見通し。</li> <li>• <b>アルコール飲料</b>は、行動制限が緩和されていることから外食需要がやや増加すると予想され、飲食店向けを中心に持ち直す見込み。</li> </ul>



食料品製造	コストの増加が収益を圧迫する見込み
<p>● 現況</p> 	<p>家庭用は、即席味噌汁やスープなどの需要が底堅かったほか、宿泊施設や飲食店向けの業務用需要も低調ながら持ち直した。ただ、原材料価格の上昇が収益を圧迫した。今後は、家庭用は調理が簡便な製品を中心に底堅い一方、業務用は持ち直しが続くものの力強さに欠ける見通し。また、コスト上昇分の価格転嫁は限定的とみられ、厳しい収益環境が続く見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>味噌やスープ</b>は、コロナ禍において家庭用の即席味噌汁やたまごスープなど調理が簡便な製品の利用が定着しており、底堅く推移する見通し。</li> <li>● <b>そば粉や油揚げ</b>などの飲食店向けの業務用は、行動制限が緩和されていることから外食需要が増加し持ち直すものの、コロナ前の水準には至らず力強さに欠けるとみられる。</li> </ul>


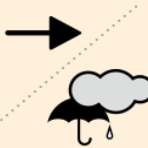
機械器具卸	機械需要は順調も、製品不足は解消せず
<p>● 現況</p> 	<p>機械需要は、半導体関連が好調なほか自動車関連が底堅く、総じて順調だった。ただ、工作機械やFA機器など一部の機種では製品不足が続いた。今後も幅広い業種で機械需要は順調な見通しだが、製品不足は解消せず、仕入価格上昇も見込まれる。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>工作機械</b>などの機械需要は、半導体製造装置向けや自動車向けなどを中心に設備投資が見込まれており順調な見通し。<b>制御機器や産業用ロボットなどのFA機器</b>の需要も、省力化・自動化ニーズを背景に堅調な見込み。<b>空調機器</b>は需要期を迎え受注増加が見込まれるが、半導体不足等により納期が長期化している機種もあり製品不足が懸念される。</li> <li>● <b>切削用工具類や金属板などの消耗品</b>受注は、自動車関連の生産滞りから弱含む見通し。</li> </ul>


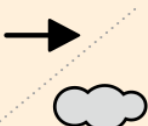
大型小売	食料品は堅調に推移するが、収益環境は厳しい見通し
<p>● 現況</p> 	<p>食料品は、底堅い内食需要に販売価格の上昇が加わり売り上げが増加した。衣料品は、行動制限緩和後の催事開催による客数増加で、堅調だった。今後も、食料品は底堅く推移する見込みだが、値上げなどで消費者の節約志向は強まる見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>百貨店</b>は、催事を中心とした集客効果で衣料品などの売り上げ増加が見込まれる。一方、コロナ禍と物価上昇の中、化粧品など雑貨の売り上げは厳しい見通し。</li> <li>● <b>スーパー</b>は、食料品を中心に堅調な見込み。ただ、仕入価格は今後も上昇するとみられる中、節約志向を強める消費者への対応や客数を維持するため、価格転嫁は限定的になると見込まれ、収益環境が悪化することが懸念される。</li> </ul>

自動車販売	納車遅れ解消の見通しが立たず、新車販売は低水準にとどまる
<p>● 現況</p> 	<p>需要は堅調だったが、半導体不足や上海のロックダウンから納車遅れが続いたほか、受注を一時的に停止した車種もあり、販売台数は前年を下回った。今後も、納車遅れや一部車種の受注停止が続くため、新車販売は低水準にとどまる見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>新車販売</b>は、人気のスポーツ用多目的車(SUV)や環境性能の高いハイブリッド自動車(HV)を中心に堅調な需要を見込むものの、半導体不足等による納車遅れが続く見通し。</li> <li>● <b>中古車販売</b>は、新車の納車遅れに伴い需要が増加しているものの、下取り車の減少により低調な見込み。</li> <li>● <b>輸入車販売</b>は、高価格帯を中心に需要はあるが、納車遅れにより例年を下回る見通し。</li> </ul>

公共工事	土木工事やインフラ補修工事などにより安定した工事量となる見通し
<p>● 現況</p> 	<p>三遠南信自動車道やリニア中央新幹線の関連工事などにより全体の工事量は例年並みとなった。今後も道路・リニア関連の大型工事に加え、国土強靱化計画に伴う土木工事やインフラの補修工事などが引き続き見込まれ、安定した工事量となる見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国では、三遠南信自動車道などの道路工事や、治山・治水のための設備の維持・補修工事などにより、工事量は堅調な見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県では、災害復旧工事や橋梁の補修工事、河川の防災・減災工事などにより、例年を上回る工事量が見込まれる。</li> <li>● 市町村では、道路整備や学校・庁舎の改修などがみられ、底堅い工事量となる見通し。</li> </ul>

民間工事	資材価格の上昇や工期の長期化などにより需要は伸び悩む
<p>● 現況</p> 	<p>民間企業の建設投資は、製造業で工場などを新增設する動きがみられ、工事量は例年並みを確保した。新築住宅は、資材価格の高騰に伴う住宅価格の上昇や工期の長期化が消費者マインドの低下を招き、持家の着工数は低調だった。今後、企業の建設投資需要は底堅いとみられるが、業界全体では、資材価格の上昇などから工事の先送りや見直しが予想される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間企業の建設投資は、工事の引き合いは一定程度見込まれるが、建築資材の不足やそれに伴う価格上昇により工事の先送りや規模の縮小が懸念される。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住宅関連は、資材不足に伴う資材価格の上昇や工期の長期化を背景に、需要は伸び悩む見通し。</li> </ul>

貨物	貨物量は低調に推移し、収益状況も厳しさが続く
<p>● 現況</p> 	<p>工業製品は、自動車部品の荷動きが弱く、貨物量は低調だった。食品関連や雑貨類の貨物量も、コロナによる巣ごもり需要が落ち着き前年を下回った。今後も、工業製品の生産は総じて弱い動きが予想され、貨物量は低調に推移する見通し。さらに、燃料価格等の上昇に対する販売価格転嫁の動きは一部にとどまり、引き続き厳しい収益状況が見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産用機械は納期の長期化がみられるものの、貨物量は徐々に増える見込み。一方、自動車部品は半導体不足の影響が長引き、荷動きは弱い見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品関連や雑貨・消耗品類の貨物量は、家庭用は巣ごもり需要の落ち着きから前年割れが続く見込み。業務用は観光関連の荷動きが改善するが、依然として力強さを欠くとみられる。</li> </ul>

観光	夏季行楽シーズンを迎えるが、観光客数は伸び悩む見通し
<p>● 現況</p> 	<p>善光寺御開帳や諏訪大社の御柱祭などの大型イベントに加え、3年ぶりに行動制限のない大型連休であったほか、「県民割」による観光需要の下支えもあり、観光客数は前年を上回った。しかし、コロナ禍前の19年には届かなかった。今後は、夏季行楽シーズンを迎えるが、大型イベントが少ないほか、新型コロナ感染再拡大による外出控えも予想され、観光客数は伸び悩む見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅客は、感染を回避するための自家用車利用が多いものの、行動制限が緩和されているためお盆休みを中心に観光や帰省での利用が見込まれ、利用客数はやや持ち直す見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宿泊施設は、全国対象の観光需要喚起策が延期され、利用客数は例年を下回る見込み。</li> </ul>